

先日知人から自転車載きました、3年程前に購入したそうですが、3ツに折りたため、車のトランクへ収納出来ます。ちなみにメーカーは中国製では無く、国産の「シマノ」製で造りはしっかりしています。購入価格はそれなりにしたらしいのですが、何と無料です（小生は無料とか半額と言う言葉に決定的な弱点があり例えば生ビール半額セール等の看板が飲み屋の店頭にあると前後の見境無く入ってしまう・・・今回菓子折りで誤魔化しましたが・・・）マンション住まいだったので雨ざらしで駐輪していた為、多少のサビがありましたが、ペーバーと金属タワシで落とし油を塗っておきました。さて自転車に乗るのは何年振りでしょうか？ママチャリのように車輪が大きく無いのと、ハンドルが小さいので結構乗り辛く、最初は友人に後ろを持って貰いあっちへフラフラこっちへフラフラとまるで幼稚園児の練習風景です。周囲の冷たい視線を感じることも13分25秒（この項はUSO）何とか一人で乗れる様に成って、今は4段ミッションをガチャガチャ言わせながら結構スイスイ乗っています。今後はスタンドの交換・サドルの交換・荷台の撤去等を考えています。日曜大工店や大きな自転車屋さんへ行けばほとんどのパーツが売られており、工具も3～4種類で済みそうですので、何とかかなりそうです。さて久しぶりの自転車の旅、調布市内で新しい発見が多々あります。野川に沿った自転車道・深大寺から植物園に抜ける道、鳥のさえずりを聞き川で魚を追っている子供達の声、車では絶対味わえない時間と空間を得ることが出来ています。240メンバーにも自転車モービルを楽しまれている方がおられますが、機会があれば小生もやってみたいと考えています。その時は皆さん是非声を掛けて下さい。FT-690MK2と12AHのバッテリー搭載と成るでしょう。と言う訳で久しぶりの自転車ライディング、地球に優しく・人に優しく・そして何よりも心に優しい乗り物を当分愛用したいと思っています（唯、お尻が痛くなるのが唯一の欠点かも・・・）

エリカについて

「エリカ」と聞いて又FVOは某国の女性の話かと眉をひそめると思いますが、今回は乗り物（自動車）の話です。正しくは「エリーカ」と言い、慶応大学の教授とベンチャー企業数社が開発した電気自動車で、16輪、最大出力400馬力 0～400M・タイム10秒弱・（F-1なみ）最大スピード360Km以上（これ以上は実測した事は無い）と言う化け物の様な車です。勿論正規のナンバーを取得しており、公道を走ることも出来ます。以前テレビで三菱ランサーエボリューション4とテストコースで競争したことがあります。ランサーは全く歯が立ちませんでした。そしてすごいことはこの車は誰が運転しての同じ性能を発揮でき直線道路なら唯アクセルを踏んでいけば良いと言うことらしいです。前輪8輪・後輪8輪、各ホイール毎に16極のモーターが内蔵されており、リチウムイオンバッテリーからインバーターを経由して給電され、アクセル開度は発振周波数と電圧を制御、ミッションが無いのとモーターで直接ホイールを駆動する為、機械的な損失がほとんど無く、前述の様な性能が出せるらしいです。思えば40年以上前、国産車で時速100Km連続運転は夢の様な話でした。ところが今では軽自動車が軽々と走れます。ことほど左様に技術の進歩は小生の想像のスピードより早く、車のみならず何事においても言えると思います。ちなみに「エリカ」は即生産ラインに乗せる事は可能だそうですが、価格は7000～8000万円以上だそうで、半分以上は湯浅電池の価格とのことです。唯一の欠点は走行距離が短い。